Museo de Naturales de Geihoku

高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 30 号
2006.6.1
高原の自然館

苅尾（かりお）とは，広島県北広島町芸北にある山の名前です．
一般には臥竜山として知られていますが，地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつかっています．

もくじ

おしらせ

–北広島町の天然記念物カワシンジュガイとアブラボテを展示

活動報告

–大潰山（柏原山）の春植物観察
–サクラソウ保全のはなし
–ブナ原生林での早朝バードウォッチング

読者サロン

観察会案内

–奥匹見峡の植物観察
–阿佐山の動植物
–水口谷の昆虫と植物
–土嶽の植生調査，夏

高原からの花だより

–何を思う？不思議な花　ヒメザゼンソウ

おしらせ

北広島町の天然記念物カワシンジュガイとアブラボテを展示しています

北広島町の天然記念物であり，芸北が世界の生息地の南限にあたる貝，カワシンジュガイを展示しています．一緒に入っているアブラボテはタナゴの仲間で，カワシンジュガイに卵を託します．

活　動　報　告

大潰山（柏原山）の春植物観察

開催日時：2006 年 5 月 7 日（日）9:30
講師：佐久間智子

明け方までの雨の余韻がまだ残り，集合時間の大佐スキー場駐車場は濃い霧に包まれていました．今日の観察会は軽い登山ということで心配しましたが，これ以上降ることは無さそうだし，皆さんの装備も大丈夫のようだったので，予定通り決行しました．

車 3 台に分乗して，登り口に着いてみると，シハイスミレの群生が迎えてくれました．登山道に踏み込むと，目立つ花は少ないものの，マムシグサやコチャルメルソウなどが見られました．足下にはムササビのかじった新芽がたくさん落ちています．特に楽しませてくれたのはスミレの仲間で，タチツボスミレ，オオタチツボスミレ，コタチツボスミレが一カ所にまとまって生えていたり，スミレサイシンやフモトスミレ，登山道を登っていくとニオイタチツボスミレやアケボノスミレも見られました．ただ，お目当てのツツジはまだ早く，開花したものはあまり見られませんでした．

山頂でお弁当を食べたあと，観察をしながら下山しました．駐車場で観察したものを数えると，植物は 41 種，鳥は 20 種と，充実した観察会でした．[し]

山に入るとすぐに，タチツボスミレ類がまとまって咲いていた．

ムササビの食痕．こんなにたくさんあった！

アケボノスミレは独特の色をしている．花の時期に地上茎が無い．

コバノミツバツツジも，一部咲いていたが盛りはまだ先だった.

駐車場でまとめ．解散するころには気温も上がった.

山頂付近に来ると再びガスが出てきた.

カシワの若い林が続く.

みなさんの印象に残ったもの

「サンショウクイ」「アケボノスミレ」「ツツジ」「オオルリ，サンショウクイの声を聞けたこと.」「アケボノスミレほかスミレ，シュンラン」「スミレの花，鳥の鳴き声.」「山頂でのシロネの一種の生育．ヤマネ？ムササビ？の巣.」「アケボノスミレが山の中頃からたくさん咲いていたこと．まだ咲いてはいなかったが，ダイセンミツバツツジが多かったこと.」「説明が具体的でわかりやすかった.」「少人数で良かった」

参加したみなさんの感想（抜粋）

「ダイセンミツバツツジが咲いていないので残念．(2)」「歩きやすい山でした．スミレがたくさん見られてよかった.」「場所が違うと新鮮な楽しみがありました.」「久しぶりの山行で楽しむことができました.」「小さな草花，注意してゆっくり見て歩くのがよかった.」「鳥博士がおられ，解説が良かった.」「雨模様であったにもかかわらず，大変楽しかったです.」

活　動　報　告

サクラソウ保全のはなし

開催日時：2006 年 5 月 13 日（土）9:30
講師：下杉孝

美和東文化センターに集まったときには雨が降っていました．それでも，参加者の皆さんの表情には，強い意志が見られました．文化センターの室内で，サクラソウに関するレクチャーを受け，質問を交換したあと，いよいよ現地を見るために外を歩きました．

美和東文化センターに隣接する圃場では，サクラソウがちょうど見頃を迎えていました．この圃場では，八幡のサクラソウをバイオテクノロジーで増やしたものが栽培されています．従って，どれも同じ花の形・・・のはずだったのですが，中にいくつか花の形や色が明らかに違う個体が混ざっていました．どの段階で入ってきたのかは分かりませんが，八幡とは別の遺伝子が入ってきたようです．自生地から花粉がもたらされたのかもしれません．

その後で自生地に移動し，自生地の置かれている環境やサクラソウの開花状況について観察しました．今年は花が遅いということで，まだつぼみの個体もありましたが，咲いている株をたくさん見ることができました．土地の持ち主の方も含め，今後の管理について話し合いました．

再び美和東文化センターに戻り，昼食をとってから今後のことについて話し合いました．美和のサクラソウを「美和桜草」と名付けよう，とにかく自生地で保護することを最優先に考えよう，小学生や地域の人たちに理解を広めよう，などの意見がかわされました．　　[し]

フィールドに出る前に，下杉さんにサクラソウの話を聞いた．

サクラソウの栽培圃場での観察．「サクラソウを育てる会」のメンバーから話を聞く．

これが八幡産のサクラソウ．花の色が濃くて，切れ込みが深い．

自生地に移動して観察. 地主さんと, 環境を整える話ができた.

これは自生地のサクラソウ. 自生地には, まだ開花していない株もあった.

昼食をとりながら, 議論は続いた.

みなさんの印象に残ったもの

「地元（地主）の人が参加していたこと.」「「野にある花は野で護ろう」のテーマができたこと.」「地元の方々の「サクラソウの大切さを理解して広めていきたい」という思いの強さに感心しました.」「美和桜草の名前ができたこと (3)」「小学生の活動が楽しみ.」「美和桜草と呼ぶほどのプライドを持って守っていく.」「保全に向けての具体的な意見がたくさん出たこと.」「自生地に行き, 実際に自分の目で見ることができた.」「美和桜草の花や形のちがい.」「昨年に比べて, あまり増えていないような気がする. 増やすことを考えるように.」「きれいに咲いているサクラソウの花. 地元の方や多くの方の熱意を感じたこと.」

参加したみなさんの感想（抜粋）

「「美和桜草」の命名ができたことはよかった.」「何も知らない私でしたが, 本当に勉強になりました. もっと美和の方々がこのような機会に参加され, 大切さを実感してほしいです.」「花好きにもスタンスの差で善悪に分かれる.」「これからが楽しみです.」「地元の方がお元気なので・・・.」「楽しかった. 子供たちが取り組んでいることがうれしい.」「地域の人の理解がやはり一番大事かと思います. サクラソウに限らず, 生物の保護には最も大事でしょう. 子供たちに関心をもってもらうこともすばらしい. 遠回りのようでも近道だし, 確実だと思います.」「“守っていく”という思いを持ち, 活動していこうとするみなさんの熱意を感じました.」「花の形や色のちがいが見られておもしろかった.」「昨年より前進している.」「熱意のある話, 具体的に護る方法ができた.」「下杉さんの説明がとても分かりやすかった.」「小学生の発表会も聞いてみたいです. (2)」

活　動　報　告

ブナ原生林での早朝バードウォッチング

開催日時：2006 年 5 月 14 日（日）5:00
講師：上野吉雄

前日からの雨が残るかと心配されましたが，少しもやの寒い中早朝から熱心に観察会の始まりです．上野先生「若葉は１０日くらい遅いですが，鳥は例年どおりです」と．まずマミジロのさえずり，ブナ林の代表的な鳥で温暖化が進むと来なくなるというお話でした．早朝からさえずり良いなわばりを確保し，雌を呼び子孫を残すものが勝つとのことでした．アカショウビンがぐるりと一周するようにさえずりましたが，寒いせいかそれきっりでした．[や]

【声・姿とも確認した鳥】

マミジロ・ミソサザイ・ヒガラ

【声を確認した鳥】

クロツグミ・キビタキ・シジュウカラ・コルリ・アカゲラ・ホトトギス・

ツツドリ・アオバト・アオゲラ・トラツグミ・ウグイス・カケス・コメボソムシク

イ・アカショウビン・ゴジュウカラ・オオルリ・イカル・ヤマガラ・ヤマドリ

開始してまもなく，マミジロが接近．

あの・・・見る方向が違うんですけど・・・．

集合時間にはまだ暗い

そうそう．そっちでしょう．

ミソサザイがずいぶん長い間観察させてくれた.

ミソサザイについて説明する上野先生.

みなさんの印象に残ったもの

「ミソサザイがよく見えた.（4)」「実際に鳥の姿が自分の目で見られたこと.」「クロツグミを確認できたこと.」「鳥の多さに感動.」「コルリのさえずり.」「寒かった．朝が早い.」「今年初めてのアカショウビンの声.（5)」「マミジロ」

参加したみなさんの感想（抜粋）

「早起きは三文の得」「早起きは三文以上の得.」「天気がもう少し良ければ.」「予想以上に寒かった.（2)」「寒かったけど楽しかった.(2)」「自然の大切さ.」「詳しいお話をたくさん聞けてよかったです.」「久しぶりにあこがれの野鳥の声を聞き，楽しかった.」「天候はあまりよくありませんでしたが，様々なさえずりを聞けて勉強になりました.」「鳥の姿があまり見られなくて残念.」「この夏までにアカショウビンを見たい．また，何度かここに来たいと思います.」「ミソサザイがかわいかったです.」「特に講師の方のお話を聞くと，鳥たちに親しみがわきます.」「鳥の習性などよくわかる.」

読者サロン

この５月連休は，山や海へと歩き三昧でした．実は４月 30 日も，平和大通りを西の端から，東の端まで歩きました．この通りは結構色んな樹木が植えられているのと，慰霊碑，オブジェ，種々の灯篭と見るものがとっても多いのです．既にフラワーフェスティバルの準備は始めっていましたが，木々の若葉やハナミズキの花がとても綺麗でした．
４月 29 日連休初日．待ちきれなくて，千町原から，苅尾山に登ってきました．おやつは自然館横のおばあちゃんの売店で購入したお餅です．山道は雪で倒された木や，折れた枝で行く手がふさがれることが多く，少し難儀しましたが，ブナの原生林の中を歩くのはやはりなんともすがすがしいものでした．上の方では北側の斜面にはまだまだ残雪が残り，桜や木の芽も未だ硬かったように思います．帰りは車道をあるいて帰ったのですが，ふもとに近づくにつれてこぶしや山桜，つつじや木の芽が芽吹いてるのが対照的でした．登山道で出会った人，ゼロ．
５月２日は，十方山の林道を歩いてきました．入り口付近は，林道が水に洗われて，ごつごつした岩がむき出しで歩きにくくどうなることかと思いました．苅尾山同様，木々，特に針葉樹が倒れたり，がけ崩れがあったりして，林道をふさいでいました．隣を流れる清流はいかにも雪解け水らしく緑がかった色をして，たっぷりの水量で流れていました．渓流釣りの方が３名，川沿いに釣り上がっていかれてました．釣果は不明．細見峡の表示のところで，木が複数たおれて路をふさいでいたのと，残雪の量が多くはじめての道でもあったのでここで引き返しましたが，周りの山々の芽吹きは感動ものでした．時間が余ったので，恐羅漢にゲレンデにも寄ってみました．周りの山々がよく見えて気持ちよかったです．十方山や隣の山の斜面にはまだまだ残雪が残っていました．山道で出会ったひと，この日もゼロ．
５月３日，この日は宮島に，観光客の多いのを避けて，一路，包ケ浦にコースをとりました．小さな峠をこえると浦があり，それなりのいわれのある神社があり，飽きるまもなく包ケ浦に到着でした．途中，椿の花が多いのが目に付きました．２０数年ぶりの包が浦は全く様変わりしており，非常に整備された公園になっていました．ジェットスキー（音がうるさい），ウインドウサーフィンが早くも行われていました．藤棚の白と紫の花がとてもきれいなのが印象的でした．うえのやのあなご弁当を頂いて一服．さてここから，包ケ浦の自然歩道を博打尾に向けて登っていきました．誰もいない山道を小鳥とかえるの声を聞きながら，椿と山つつじをめでながら登っていきました，少し汗ばんできた頃尾根にでて左右ともに海が見えました．瀬戸の島々，江田島に大島，廿日市，広島方面，先ほどまでいた包ケ浦を眼下にすることができます．そのあと大鳥居を前方右手に見ながら下りに入り，紅葉谷へと降りて行きました．そして我が家の定番，藤井屋さんで作りたての紅葉饅頭と緑茶を頂いて帰りました．この日も山中の自然歩道でであった人，ゼロ．なかなか，いい一日でした．
最近は皆さん歩かないで車にキャンプ用品を積んで．．．．のスタイルが多いようですね．歩くと車とは目線が違って，気付かされることが多く，それが楽しいですね．

塔岡尉令 さんからのお便りでした．

テーマトーク

今回のテーマは，

『今年「春だな～」と感じたこと』です．

今年は遅くまで雪が残ったりして，いつ春になったのか分からないくらいでした．思い返してみても，「春だなー」と感じたことを思いつきませんでした．．．（柳崎）

２月：除雪した道路の地面の氷が溶けている時．３月：雪が解け，八幡中がもやに覆われているとき．４月：タムシバが咲き，田んぼに水が張られたとき．長かった冬も終わりだなぁ，とホッとするのです．ほんとうに少しずつ春がやってきます．（藤原）

春がきたと思うとき、雪が消えて地面が見えたらやったー！！と叫びたくなりますね。だって洗濯物が外に干せるから。洗濯物が風にそよぐ風景＝春の訪れ、が私の中の方程式です。（河野）

雪が溶けて地面が現れた時に，あぁ，春だなぁ，と思うことが分かりました．花はきれいですが，春はきれいじゃないかもしれません．（しらかわ）

観　察　会　案　内

奥匹見峡の植物観察

開催日時：2006 年 6 月 10 日（土）9:30
集合場所：道の駅匹見峡
講師：大野勉，和田秀次
準備：山を歩ける服装，弁当，水筒，筆記用具など
定員数：30 名
参加費：300 円
（ただし，西中国山地自然史研究会会員は 100 円）

県境を越えて，日本海側の渓畔林を歩きます．瀬戸内側と日本海側の違いを見比べながら，夏の川辺を観察します．

阿佐山の動植物

開催日時：2006 年 6 月 18 日（日）9:30
集合場所：清流の家
（大暮，http://www.seiryu.info/）
講師：斎藤隆登，佐久間智子
準備：山を歩ける服装，弁当，水筒，筆記用具など
定員数：30 名
参加費：300 円
（ただし，西中国山地自然史研究会会員は 100 円）

大暮地区の山，阿佐山に登りながら植物を観察します．苅尾山では成熟したブナ林が見られますが，阿佐山では多くがまだ若い木です．そのため，林床の植物も二次林的な要素が多く残っています．二時凛とブナ林，両方の植物を観察しましょう．

水口谷の昆虫と植物

開催日時：2006 年 6 月 24 日（土）9:30
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治，和田秀次
準備：山を歩ける服装，弁当，水筒，筆記用具など
定員数：30 名
参加費：300 円（ただし，西中国山地自然史研究会会員は 100 円）

高原の自然館がある場所を「水口谷（むなくとだに）」と呼びます．その中にある水口谷湿地は，ハンノキが優占しています．木道が取り付けられた湿地を歩きながら，かつて千町原に広がっていた湿原の姿を探ります．夏の湿原なので，花や虫もたくさん見られると思います．西中国山地自然史研究会にとって，はじめての場所です．

土嶽の植生調査，夏

開催日時：2006 年 6 月 25 日（日）9:30
集合場所：高原の自然館
準備：汚れても良い服装，長靴，弁当など．
定員数：30 名
参加費：無料

八幡湿原自然再生事業の区域内に設置した実験区で植生調査を行います．2004 年に設置した水路の影響で，実験区では徐々に植生が変化しているようです．この結果は，来年からはじまる工事の計画にも参考にされました．継続して調査していきましょう．いつもよりも，ぐっと植物に近づける機会ですよ．

今後の予定は下記のとおりとなっています．参加の申し込みや不明な点などは，事務局の方までお気軽にお問い合わせ下さい．

よろしくおねがいします．

2006 年
- 6 月 10 日　奥匹見峡の植物
- 6 月 18 日　阿佐山の動植物
- 6 月 24 日　水口谷水口谷の昆虫と植物
- 6 月 25 日　植生調査
- 7 月 22 日　昆虫観察
- 7 月 23 日　湿原の観察 –八幡湿原と自然再生事業–
- 8 月 5 日　カワシンジュガイの観察
- 8 月 20 日　巣箱づくり
- 9 月 18 日　植生調査
- 9 月 24 日　雲月山の植物
- 10 月 8 日　キノコの観察会
- 10 月 9 日　サツキマスの産卵
- 11 月 11 日　冬鳥の観察・紅葉とゴギの産卵
- 11 月 19 日　千町原の草刈り

2007 年
- 1 月 21 日　アニマルトラッキング
- 2 月 18 日　スノートレッキング
- 3 月 11 日　苅尾トレッキング

高原からの花だより

何を思う？不思議な花　ヒメザゼンソウ

今年の八幡高原では，穀雨を過ぎても積雪が見られました．農業に従事されている方には厳しい冬でしたが，地球温暖化が叫ばれる昨今では，この寒さにホッとするような気もします．温暖化は自然の仕組みだけでなく，人の感覚も変えているのかもしれませんね．

ヒメザゼンソウは少し湿った場所に生えるサトイモ科の多年草で，花の高さは 5cm ほどです．花のつくりが特徴的で，真ん中の花序を包んでいる物は仏炎苞（ぶつえんほう）と呼ばれます．仏炎苞に包まれた花序の姿を座禅する禅僧にたとえた名前だそうです．サトイモ科の植物は基本的に同じつくりをしていて，ミズバショウやカラー，サトイモ，コンニャク，マムシグサなど，一見違う花でも類縁関係にあることが分かります．

よく知られているザゼンソウは花の大きさが 10cm から 20cm とずいぶん大きく，兵庫県より東に分布します．生活史にも少し違いがあり，ザゼンソウは葉が伸びきる前に花を咲かせるのに対し，ヒメザゼンソウは先に葉を開いてから，5 月から 6 月にかけて花を咲かせます．

さて，それでは 4 月の下旬に咲かせた花はいったいどちらの花なのでしょうか？寒い日が続いた今年の春，早くにヒメザゼンソウの花を開かせたのが，気候なのかこの株の持つ特質なのかは分かりません．確かなのは，身近な自然にも，私達が知らないことがまだたくさんある，ということでしょう．

この記事は『広報きたひろしま 16 号』に掲載されたものを転載したものです．

千町原のあちこちにカンボクの花が咲いています．雨の中にしっとりと咲く，ガクアジサイのような白い花を見ると「あぁ，また梅雨が来たんだな」と感じ，気持ちが落ち着くような気がしますが，同時に複雑な思いもあります．それは，今カンボクが生育している場所は，もともとが湿地だった場所で，牧場開発によって乾燥化されたために，カンボクが生育できるようになった，という経緯を思うからです．思いを巡らせることも梅雨の過ごし方ですかね．

記事に関するお問い合わせ，観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）
〒 731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax：0826-36-2008
http://shizenkan.info/　　staff@shizenkan.info
冬季連絡先：0826-35-0070（芸北文化ホール）